

音楽科学習活動案

学習日時 平成17年8月23日(火) 第5限
 学 級 3年4組(男子15名、女子17名、計32名)
 授業者 白山市立北辰中学校音楽科

1 題材 合唱の喜び (教材「少年時代」・課題曲「そのままの君で」・自由曲)

2 題材の目標

- ・曲の雰囲気を感じ取って合唱表現することに意欲的に取り組んでいる
 (①関心・意欲・態度)
- ・自分たちの合唱に関心を持ち、より高めようと進んで活動に参加している
 (①関心・意欲・態度)
- ・和声や楽曲の仕組みなどの特徴を生かした表現を工夫する (②感受・工夫)
- ・声部の重なりを感じながら、楽曲の構成を生かした合唱表現をすることができる
 (③表現の技能)

3 指導に当たって

(1) 教材観

井上陽水さんの作った「少年時代」はCM等でも流されており、中学生にも馴染みがある。この曲は、ユニゾンとハーモニーの部分が交互に現れ、声部の重なりが感じやすく、また、男声パートにも主旋律が多く、意欲的に取り組みやすい合唱曲であり合唱の導入に適している。

課題曲「そのままの君で」は、松井孝夫さんが中学生のために作曲した混声2部合唱の曲で、音域的にも無理がなく、歌詞の内容も多感な中学生に共感しやすい歌詞である。卒業式にも在校生の合唱で歌っており、生徒に親しみがあり取り組みやすい教材である。曲は大きく3つの部分に分かれており、前半部はユニゾンから始まる6小節ごとのフレーズが4回続き声部の役割を変化させながら進む。中間部の上行系の跳躍がある旋律はユニゾンで2回繰り返すことにより盛り上がるフレーズである。後半部は男女の掛け合いによるハーモニーが生まれ、クライマックスを表現している。楽曲構成もわかりやすく、盛り上がる部分の表現の工夫を考えることができる。

自由曲は、混声3部合唱で曲想の変化のある曲を選び、構成(作詞やアカペラなど)をクラスごとに工夫し、自分たちだけの合唱曲を作り上げて欲しいと考えている。

(2) 生徒観

このクラスは、素直に声を出せる生徒が多く、歌を楽しめるクラスである。女子生徒の歌声の響きも明るくファルセットも美しく表現できる生徒が多い。練習時においてもリーダーとして指示できる生徒がいる。男子生徒は変声期はほとんどの生徒が終わっているが、音程を維持することが苦手であり、良い響きの声を持った生徒も数人いるが全体の声のまとまりはまだ感じ取れない。クラス全体のユニゾンの響きのまとまりはあるがさらに豊かな響きを求められると感じている。

(3) 指導観

生徒達のなじみの深い曲を選曲し、合唱曲の面白さを感じ取らせ、合唱コンクールに向けて意欲的に活動できるようにこの題材を設定した。この題材での活動を通して、課題である高音域や音の跳躍がある旋律の歌唱が低くなる傾向を克服し、音程のねらうポイントをつかませたい。また、パート練習を行いながらお互いの声をよく聴き合うよう指導し、声のスピードや長さをそろえてパートとしてのまとまりを感じ取らせたい。また、クラス全体で声部のハーモニーを感じ取り、曲の構成を生かしながら、達成感を味わわせたい。

練習方法を工夫し、アカペラでの練習や合唱の録音などをして、合唱の楽しさや難しさを実感させたい。また自分の長所短所を確認し、今後の練習に生かすようにアドバイスしていきたい。

自由曲の選曲では、詩の内容や構成に注目させ、中学校生活最後の合唱コンクールにふさわしい曲を見つけて欲しいと考えている。

4. 指導計画

- 第1次 合唱の導入「少年時代」で声の重なりを感じ取ろう・・・3時間（本時1/3）
 第2次 課題曲「そのままの君で」の表現を工夫しよう・・・3時間
 第3次 自由曲で構成を生かした表現を工夫しよう・・・5時間

5. 本時の学習

- (1) 教材 「少年時代」
 (2) ねらい 各パートの音程をしっかりとつかもう
 (3) 評価規準 ③音程を捉えて、合唱活動に意欲的に取り組む
 (4) 準備 シンセサイザー、各パート用カセットテープ
 (5) 学習過程

課題	生徒の活動	教師の支援	評価項目と方法
導入 10分	発声練習のあと既習の歌唱曲をアカペラで歌う	姿勢や口の形、ユニゾンに意識するよう助言する。	
展開 30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">各パートの音程をしっかりとつかもう</div> 旋律を歌い、リズムを確認する ・原曲を聴いて雰囲気をつかむ ・リズムと音程を確認しながら歌う 楽譜のユニゾンの部分に印を付ける 最初のハーモニーを確認する ・和音を感じて歌う パート毎に練習する ・テープに合わせて音程とリズムを確認する。	・知っている曲なのでのびのびと歌うように指示する。 ・リズムの変化を確認しながら反復練習を行う。 ・ユニゾンやハーモニーの場所を明確にし、学習の目安を与える。 ・ハーモニーを感じて、そのあとのパート練習への意欲を高める ・メロディー以外の部分を中心に学習するよう指示する ・期間指導をしながら個々のつまづきを見つけ、アドバイスをする	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①関心意欲態度 ・音楽活動に積極的に参加しようとする。【観察】 </div>
まとめ 10分	まとめとして発表する。 自己評価を記入する 次時の課題を確認する	・本時で学習したことを確認し、意識するよう助言する。 ・意見を発表し合い、考えを深める ・楽譜にも課題を明示する（未習得部分にアンダーラインなど） ・合唱になるとどんな響きがするのか先輩の合唱を聴かせて意欲をわかせる	

6 題材の学習目標と評価の方法（総時数 11 時間）

次	目標	主な学習活動	①関心意欲態度	②感受・工夫	③表現の技能
一 (3)	合唱の導入 「少年時代」	・各パートの音程をつかむ	・音楽活動に積極的に参加しようとする。【観察】		
	音程を捉えて、合唱活動に意欲的に取り組もう	・つられないように気をつけて歌う			・自分のパートの音程を歌うことができる。【観察・プリント】
	声の重なりを感じて合唱しよう	・声の重なりを感じ取って合唱する			・声部の重なりを意識しながら合唱することができる 【録音・プリント】
二 (3)	課題曲 「そのままの君で」	・曲の雰囲気を確認しよう	・雰囲気の変化を捉え、表現を工夫しようとしている。【観察】		
	構成を生かした表現を工夫しよう	・声の重なりを感じ取って合唱する			・声部の重なりを意識しながら合唱することができる 【録音・プリント】
		・構成を生かして合唱しよう		・和声や楽曲の構成を生かして表現を工夫している【観察】	
三 (5)	自由曲	・各パートの音程をつかむ	・音楽活動に積極的に参加しようとする。【観察】		
	音程を捉えて、雰囲気を生かした表現を工夫しよう	・つられないように気をつけて歌う			・自分のパートの音程を歌うことができる。【観察・プリント】
	声部の重なりを意識して合唱しよう	・各パートの課題を見つける	・雰囲気の変化を捉え、表現を工夫しようとしている。【観察】		
	構成を生かして合唱しよう	・声の重なりを感じ取って合唱する			・声部の重なりを意識しながら合唱することができる 【録音・プリント】
		・構成を生かして合唱しよう		・和声や楽曲の構成を生かして表現を工夫している【観察】	